

W121a **ASTRO-H 搭載 硬 X 線望遠鏡 (HXT) の開発の現状 VII**

栗木久光, 杉田聡司, 黄木景二 (愛媛大), 國枝秀世, 松本浩典, 石橋和紀, 田村啓輔, 田原譲, 長野方星, 古澤彰浩, 宮澤拓也, 森英之 (名古屋大), 岡島崇 (NASA/GSFC), 石田 学, 前田良知, 林多佳由 (ISAS/JAXA), 幅良統 (愛知教育大), 難波義治 (中部大), 山内茂雄 (奈良女子大), 上杉健太郎, 鈴木芳生 (JASRI/SPring-8), 伊藤真之 (神戸大), 高坂達郎 (高知工科大), 山下広順, 小賀坂康志 (JST), 他 ASTRO-H/XRT チーム

ASTRO-H は 2015 年打ち上げ予定の次期 X 線天文衛星である。この衛星には口径 45cm/焦点距離 12m の多層膜硬 X 線望遠鏡 (HXT) 2 台が搭載され、10 keV 以上の硬 X 線領域での撮像が可能となる。HXT の開発/製作は名古屋大学が中心となっており、昨年の HXT1 号機完成に続いて、今年 2 号機 (HXT-2) が完成した。HXT-2 の完成後、機械環境試験 (音響試験、振動試験) を実施し、HXT-2 が機械環境試験に耐えることを確認している。大型放射光施設 SPring-8 での地上較正試験から、HXT-2 が HXT-1 と同等の性能を有することを確認し、ほぼ設計通りの性能を持つことがわかった。

本講演では、HXT の開発の現状ならびに、X 線性能試験の結果を報告する。